

## 今週のメニュー

## ■トピックス

◇中学校理科教員向け工場見学会 開催

プラスチック教育連絡会

## ■随想

◇モザンビーク共和国旅行記（10）（終）

ーモザンビーク共和国あれこれ（その2）ー

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

## ■編集後記

## ■トピックス

◇中学校理科教員向け工場見学会 開催

プラスチック教育連絡会

一般社団法人日本化学工業協会（日化協）、日本プラスチック工業連盟、一般社団法人プラスチック循環利用協会、塩ビ工業・環境協会の4団体は、2012年度から中学校1年生の理科で「プラスチック授業」が必須になったことを受け、教職員、生徒の方々にプラスチックの生産加工の現場を見ていただいたり、教育の場で使いやすい教材などを作成するために、先生方と連絡会を立上げ、様々な教育支援活動を企画・実行しています。このたび連絡会としては初めての試みとして、中学校理科教員向け工場見学会（7月30日）のアレンジをお手伝いしました。

本企画は、品川区立八潮学園校長山口晃弘先生が中心となり、東京都中学校理科教育研究会の観察・実験委員会と品川区教育会の主催で行われたもので、プラスチック原料の製造現場として旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所を、プラスチック製品の製造現場として東洋製罐(株)横浜工場を見学することとなりました。

夏休み中であるにもかかわらず、募集定員一杯の25名の先生方にご参加いただきました。当日は、午前9時に品川駅前に集合し、中型バスで旭化成ケミカルズ(株)川崎製造所に向かいました。一般見学コースで石油化学工場の仕組みや同製造所で作っている製品（ポリスチレン、アクリル樹脂等々）についての説明を受けた後、合成ゴム製造プラントに入り、自動的に裁断されたボールをベルトコンベアで次工程へ送り、異物をチェック・除去するプロセス等を見学しました。



午後は東洋製罐(株)横浜工場に移動し、PET ボトルや飲料缶の製造工程を見学しました。プリフォーム（ボトルにする前の試験管状の成型品）が瞬時に PET ボトルに姿を変える工程はたいへん興味深く、先生方も見学者用に用意されたプリフォームと PET ボトルを交互に電子天秤に乗せ、同じ重量であることを繰り返し確認しておられました。また、飲料用のスチール缶にもラミネート鋼板としてプラスチックが使用されていることは新鮮な発見だったようです。

帰りの車内では、先生方から「是非、生徒たちにも見せたい」、「授業に使うためのサンプルが欲しい」等のコメントを頂きました。今回の工場見学の経験を、プラスチック授業に活かしていただけたらと思っています。また、今後、見学会にご参加いただいた先生方の意見や感想を参考にし、次なる教育支援策を企画していきたいと思っています。

## ■ 随想

### ◇モザンビーク共和国旅行記（10）（終）

#### ーモザンビーク共和国あれこれ（その2）ー

一般社団法人 日本化学工業協会 若林 康夫

#### 両替

モザンビークだけではありませんが、アフリカではコインが不足している国が少なくありません。両替をしようとする、当然、コインも必要となります。モザンビークで面白いなあと思ったのは、

両替後の金額：198 モザンビーク・メティカル

銀行員 「2 メティカル持ってる？ 持っていたら頂戴」

私 「あるよ」

銀行員 「はい、200 メティカル」

銀行でさえコインが不足しているので、何とかお札だけで済まそうとするのです。このようなことは両替の時だけではありません。買い物の時も同じようなことを聞かれることがあり、日本のように単純にお釣りをもらえることに慣れていると、一瞬、「何のこと？」とってしまいます。

#### シーラカンス・コイン

両替の文書を作成しているとき、ハッと気が付きました。モザンビークの2 メティカル・コイン、シーラカンスの刻印でした。

分かりにくい写真で済みません <m( )m>



#### 黒檀の彫刻

モザンビークのお土産で有名なものの一つに黒檀の木を彫った彫刻があります。黒檀はモザンビークとタンザニアが産地として有名ですが、木の中でも特に硬い木として知られており、簡単に彫ることができるものではありません。モザンビークの街中では、この黒檀製の彫刻が、妙に安い値段で売られています。手に取って、商品を見ている振りをして爪で押すと、簡単に傷が付きます。ん？ 黒檀の硬さではない！

ある、お土産屋さんの裏手に回ってみました。普通の加工しやすい木に彫刻をしている人。その隣には、出来上がった彫刻に、一生懸命に黒い“靴墨”を塗っている人が (-\_-)

## お弁当屋さん

お昼時になると、公園や大きな工事現場のそばにお弁当屋さんが開店します。車に料理の入った数種類の鍋やご飯を入れた炊飯器を積み、お客さんの希望に合せ、発泡スチロール製の容器に盛り付けをしてくれます。何やら日本のオフィス街を見ているようです。

昔ながらのお弁当屋さんと言うか、露店の食堂も開店します。公園の片隅で、おばちゃんたちがササッと囲炉裏をこしらえ、その上に鍋を置いて調理をします。容器はもちろんアルミでできた洗面器です。とても美味しそうなのですが、食材や容器を洗う水を見ると、食べる勇気がありません (^\_^)

## サモラ・マシエル大統領の謎

1975年、ポルトガルから独立後、モザンビーク初代大統領の銅像です。

1986年10月19日、ザンビアでの国際会議に出席し帰国の途中、搭乗していた飛行機が南アフリカ領内で何者かに攻撃され墜落し死亡。当時はまだ白人が主導していた南アフリカ政府が墜落に関与していると言われ、数回に渡り国連も含めた調査が行われましたが、真相は今も不明なまま。実際には調査にかなり政治的判断も含まれているとか。



未亡人となったグラサ・マシエルさんは、1998年に当時の南アフリカの大統領であったネルソン・マンデラ大統領と再婚され、世界で初めて、2つの国のファーストレディーになった方です。

## 禁止！

今回の旅行記では、地雷撤去作業について書こうかと思っていました。しかし、このことに関しては保安上の理由から一切公開してはならないと関係機関から禁止命令が出てしまいました。

地雷除去機については「日建（旧：山梨日立建機）」のウェブサイト詳しく書かれていますが、実際の撤去作業についてはカンボジアでの活動は比較的詳しく書かれていますが、モザンビークのことは納入実績程度のことしか書かれていません。やはり、保安上の理由等があるのでしょうか？

実は、毎年お送りをしているこの旅行記、某国の大使館から、いきなり書記官がお見えになり、掲載した内容は本当のことだったので、削除は求められませんでした。が、「本当のことを書けばいいというものではありません。大人の判断をしてください」とクレームが付いたことがあります (@\_@)

いつものように、取り止めのない旅行記になりましたが、最後までお読みいただき、ありがとうございました。

(終)

⇒ [バックナンバー](#)

## ■ 編集後記

7月より塩ビ工業・環境協会の事務局メンバーに加わりました新人です。今回がデビューとなります。今まで塩ビ関係の仕事に携わったことのない若葉マークですが、塩ビの魅力を伝えることができるようになりたいと思っています。

8月ももうすぐ終わりますが、まだまだきびしい暑さが続くと思われるので、皆様ご自愛ください。今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。(ヨッシー)

## ■ 関連リンク

- [メールマガジンバックナンバー](#)
- [メールマガジン登録](#)
- [メールマガジン解除](#)



◆編集責任者 事務局長 高橋 満

■東京都中央区新川 1-4-1

■TEL 03-3297-5601 ■FAX 03-3297-5783

■URL <http://www.vec.gr.jp> ■E-MAIL [info@vec.gr.jp](mailto:info@vec.gr.jp)